

Be Real

どうも、田辺です。
いかがお過ごしでしょうか。

僕自身、ネットで恋愛の情報発信を初めて、長い年月（2006年から）が経っているのですが以前と比べるとずいぶん恋愛に関する情報発信は減って来てメルマガのテーマはどちらかといえば、どう生きるか。というテーマが多くなったと思います。

それは、テクニックではやはり限界があるという恋愛の本質を切に伝えたいということが強いからに他なりません。では、なぜ世の中の男性たちはいつまで経ってもテクニックに依存し新たなテクニックを追い求めるのでしょうか。

それは、僕が思うにテクニックやテンプレートが、インスタントでそこそこの結果を出すことができるからです。テクニックとテンプレートで簡単にある程度の結果を出すことができるからこそ、ノウハウやテンプレートというものが存在するわけです。レポートのタイトルにもあると思いますが、このレポートではいかにして薄っぺらい男ではなく、本質的に魅力のある男に近づくかというのをテーマに書いていきます。

テクニックに頼りすぎて壁に当たる男性たち

テクニックが善か悪かはおいておいて。テクニックに走り過ぎるとその人たちは必ず壁に当たります。壁に当たるということはどういうことかということ、単純に

ある一定レベルの女性を上限として、そこから先のレベルの女性には相手にすらされない

ということ。

非常に悲しい現実です。女性経験の少ない男性がまず初めてネットでモテ方を検索する。そして、ほとんどの恋愛起業家はテクニックの話ばかりしている。その情報を鵜呑みにしてしまいテクニックこそがモテるための全てだ！と盲信し実力のない恋愛情報発信者からテクニック、テンプレートばかりを学ぶ。そして魅力のない男が出来上がってしまう。これが現実なのです。

そこそこのレベルの女性で満足という低い理想を掲げて生きている男性たちはそれで満足すると思います。しかし、男として生まれてきた以上、いい女を連れて歩きたい。いい女が自分に尽くしてくれる、最高の笑顔で迎えてくれという理想を持っているのではないのでしょうか。そこそこの彼女を連れて街を歩いていても、どうしても前から歩いてくるカップル男女を見て無意識的に比較しているわけです。あっちの女の方がいい女、俺の彼女勝ちだな。と、いう具合に。

人は感情で女性を選び論理で正当化します。あなたの彼女と前から歩いてくるカップルを比べて、あっちの女性の方がいい女だと思っても、論理で正当化するのは。「どうせ、あの女は顔だけで、中身は浪費家のわがまま女だ。その点、俺の彼女は性格もいいしやさしい。」と。本人は大真面目なのでしょうけど、実際俯瞰してみると少し悲しい自己正当化だと思います。

初めての成功体験

テクニックを学び恋愛活動をしていくと正しいノウハウであれば、少しの結果を出すことができます。今まで、女性と手を繋いだこともなかった男性がいきなり必殺技を習得したかのごとく、最初は快進撃を繰り広げられるのです。それは、まさにアリアハンを出たばかりの勇者にドラゴンキラーを与えるかのごとく強力なのです。本体のレベルがまだ高くない状態であったとしても、攻撃力が一気に増強され、ある程度までであればほとんど一撃で敵を駆逐できるほどのパワーなのです。

しかし、途中から気づきます。どうでしょう、ロマリアでさまよう鎧が4匹出てきたらさすがに厳しいでしょう。防御力、すばやさ、HP等、その他の要素が足りなさすぎて、さすがにドラゴンキラーだけではこちらがやられてしまう。恋愛活動をテクニックに頼り進めていくと少なからず前述した状態に陥ってしまうのです。

テクニックの本質

テクニックの本質について。テクニックの語源はギリシャ語の「テクネ」。テクネの意味としては「金細工師が持っている実力以上の装飾能力」という意味が含まれています。噛み砕いて解説すると、「実力以上の力を引き出す」ということ。なので、テクニックというのは一時的に使う者の力を引き上げる要素はあるものの、その本人そのものの実力をあげるものではないということが理解してもらえるかと思います。先ほどのドラゴンキラーの話ではないですが、要するにテクニックというものは、どれだけ覚えたからといってそれがその男性の本質的な力をあげるものではないということ。

テクニックを考察する

テクニックを少し具体的に話していきましょう。例えば、恋愛に関するテクニックであれば、女性から来たLINEをすぐに返信しない、ある程度時間を置いて返信する。ということがあげられます。これは単純に何も考えずに実行するだけである程度の結果が出ます。では、なぜこの行動をすると効果がでるのかを考えるまでに至る人は実践している人の中で全体の1%にも満たないと思います。

女性から来たLINEに返信しないことで、何が起これるかという女性に対して手に入っている感が抜けるのです。多くの男性は世間一般で語られる「マメな男がモテる」という話を信じて、女性からのメッセージに対してマメに返信すればいい、毎日日記のようなLINEを送れば振り向いてくれる。という信念を元に行動しています。そこで、その大勢の男性たちとの差別化を計るためにLINEをすぐに返信しないというテクニックが使えるのです。

そして、さらにもう少し掘り下げるとそれは本質に近づいていくのです。テクニックというのは実際にモテる男性が普段からしている行動の一部を抜き取り、誰でも実践できるようにカスタマイズしたものです。なので、本当にモテる男たちというのはテクニックということを意識せずに、女性たちからLINEが入ってきたとしても、面倒臭い、他にもたくさん女性はいるからすぐに返信する必要がない、もうこの女性はフェードアウトの方向に持っていきたいのでそれを匂わすために連絡を遅らせる。という具合に、本質的にモテる男たちにはそれをする明確な理由があるのです。要するにモテる男たちが普段からしている行動の一つに、LINEをすぐに返信しないという行動パターンがあるだけなのです。

告白という儀式

普通に幼少期からテレビを見て育った男性であれば付き合う時には告白をするもんだ。と、自然な洗脳が施されてしまっています。それは、テレビドラマ、雑誌、世間の風潮が綺麗な恋愛、人々の理想な恋愛を描いたのを鵜呑みにしてしまい、女性と付き合う時は告白をしなければいけない。という恋愛の本質とはかけ離れた常識が構築されてしまっているのです。

テクニックではないのですが、それに近いマインドセットで告白はしない方がいい。という考え方があります。これも、同じでテンプレートとして告白しないということを頭にインプットしておき、そこそこの口説きを入れて男女の関係になれば付き合う確率は飛躍的に上がります。これも何も考えなければ、ただ「告白をしない」という状況を作り出していけばそれでいいのです。

ただ、先ほども述べたように、もう少し思考を深掘りしてもらいたいのです。テクニックはモテる男たちが自然にしている言動や考え方。モテる男たちはなぜそう簡単に告白しないのでしょうか。

それは、経験則から告白をする意味がないということを理解しているからです。女性は告白されたから好きになるのではなく、その男の魅力に惚れるのです。しかし、テクニックの表面だけを見て実践してしまう男性の中には、「そうか！告白をしなければいいんだ！」とその部分だけを真似してしまいます。そうするとどうなるのかというと本当に告白をせず、ただ食事に行き帰宅後にLINEを送る。また食事に行き、帰宅後にLINEを送る。というどこにでも存在する「奥手男子」になってしまうケースが少なくないです。その場合は、言うまでもありませんが女性から疎遠になってしまうことでしょう。

女性に送るLINEのテンプレは有効なのか？

今でこそ、僕はネットにおける恋愛市場を見るのがなくなりました。しかし、少なからず僕が情報発信を始めた頃は他の教材販売者がどんなものを売っているのか。ということを見ていた頃があります。それは、僕が興味があると言うよりは、僕がコンサルの面談や懇親会でクライアントに聞かれることがあったからです。

色々を見ていて思ったことが、「ああ、なんて恥ずかしいセールスレターを書くのだろう。」とか、「たぶん、この人は本当にモテる人ではないんだろうな。」ということです。中にはある程度実践ベースで体系化できている人も見受けられるのですが、ほとんどの発行者は完全に顧客目線ではないのです。

例えば、女性に送るメールのテンプレートやLINEのテンプレートという教材がありました。それを見たときに、お客さんのことを全く考えられないのだなと感じたのです。お客さんのことを全く考えられない＝女性にもモテないという図式が出来上がります。

なぜか？お客さんにもものを買ってもらうのも、女性に自分を売り込むのも同じだからです。女性のことを考えずに自分よがりの一方的な言動を発していたら、少なからず女性は離れていくのです。それは、ビジネスでも同じでお客さんに自分よがりな商品を販売しても最初はバレずに売れるかもしれませんが、再現性のないノウハウやそのお客さんたちが使いこなせないものだったら、結局それが使えないノウハウだと言うことがバレてしまい、信頼を失ってしまいます。

そもそも、考えてもらえればわかる通り恋愛においてメッセージは送る人物に依存するのです。経済力があり、見た目にも気をつけており、堂々とした振る舞いをしているA君。目がきょどつていてひょろくて、ガリガリで髪もセットしていないB君。この両者が同じ女性に同じ内容のLINEを送って見たらどうでしょう。どちらが、好意的な返信をもらえるのかは明白です。

このような、考察力がある人が考えれば当たり前の事を大真面目に数万円で教材を販売している人間がたくさんいるわけですが、こういうところを見るだけで彼らの稚拙さが伺えるわけです。

ナンパは善か悪か

ナンパ教材やナンパノウハウがあります。僕はナンパ自体は女性と出会う方法の1つとして有効だと思いますし、僕も普段から女性に声をかけることがあります。ただ、ナンパという方法は実践する人間を選ぶのです。恋愛経験のない超恋愛ど素人がナンパこそ彼女を作る最短の近道だ！と意気込み実践していく。そういう人が少なからずいると耳にしますが、かなり茨の道だと思います。よくあるのが、道ゆく女性に手当たり次第声をかけていき連絡先を交換するというものです。恋愛経験がない男性がいきなりそれをしてかなり厳しい戦いになることでしょう。結果、多くの方は「地蔵」になって結果を出すことができないと聞きます。

女性に自分を売るということは第一印象も含めてボロを出さない、もっと言えばボロのない人間を目指す必要があるのです。恋愛経験がないということは、まず第一印象の服装から改善しなければいけないのに、いきなり戦場に無防備で向かってそれ結果が出ることはないでしょう。

そして、自信を失い戦意喪失に陥り恋愛をすることすら怖くなってしまいう可能性がある。人にはステージというものがあります。小学一年生の野球少年が甲子園球児と同じレベルの練習をしろと言われてもそれはキツイのではないのでしょうか。もちろん、ナンパは女性と出会うために非常に有用な方法なのであなたの恋愛レベルが上がったらぜひ実践してもらいたいし、いつか僕が開催する懇親会に参加していただける機会があるのであれば、直接僕に聞いてもらってもある程度お教えすることは可能かと思えます。

男のステージと出会いの場

先ほど人にはステージがあると言いました。それは出会いの場所においても同じです。恋愛活動を進めていく上で、この「ステージと出会いの場」の関係性を見誤ると何年努力しても水の泡になってしまうこととなります。恋愛経験がない男性がいきなり夜のお店（キャバクラ・クラブ）へ行き、女性を口説きにいったらどうでしょうか？ 仕事上、お客さんとしては相手をしてくれるかもしれませんが、プライベートな彼氏の関係を持ってもらえることはかなり難しいことは容易に想像できることでしょう。そこまではいかないとしても、先ほどのナンパや多くの男から言い寄られている美人女性を彼女にしようとするのは流石に難易度が高いです。

恋愛経験が少ない男性がまず活動する「場」というのは、出会いパーティー、ネットの出会い。この2つに限定されてきます。この2つの「場」で修行にも近い経験を積み、そこから男の魅力を構築していき恋愛において再起動がなされるべきなのです。

お金と恋愛

多くの人が思っていることがあります。お金を持っている男はモテる。ということです。確かにお金を持っていればある程度まではモテることができます。そして、お金を持っているけど自信がない男は女性との会話でお金の話をしがります。

「俺はどれくらい稼いでいる」とか、「資産がいくらある」とか、そういうお金の話を初対面でするのです。これもステージの話につながってくるのですが、そういう話を軽はずみにする男性というのはそのレベルのステージということ。恋愛は総合力というのはメルマガで痛いほど話しているのですが、お金を稼いでいる・持っているということは、男の魅力の総合力のほんの一部にしか過ぎません。

そして、その一部分に極端にフォーカスしてコミュニケーションを図ると必ず何らかしらの違和感がにじみ出ます。経験値が高い女性ほど無意識の統計によって過去に出会ってきた男性たちと比べ「この人何か違う...」という印象を持たれます。あなたもこのような直感で「なんかこの人信用ならない」「胡散臭い」と思ったことが少なからずあるのではないのでしょうか。

それは、女性たちも同じでお金のおいにお金に敏感なお金好きで浪費家の女性を引き寄せてしまうことになるのです。多くの男性が矛盾しているのが、結婚後の妻には節約家を求めるのに対して、口

説く時にお金を見せびらかすのです。矛盾していますよね。それでは、結婚後にお金のことでめ離婚騒動になるのも仕方がないのです。その奥さまはその男が見せびらかした経済力的要素も含めて未来予想図を描いたのですから。

総合力とバランス

恋愛において顕著な結果を残したいのであれば、この「総合力とバランス」をあなたも意識してもらいたいと思います。ネットで見かける「ギラギラ系」の痛い人たちや、淫らなセールスページで欲望を刺激し商品売り込んでくる痛い人たちには到底理解不可能なことだと思いますが、下品で稚拙なものがあまり好きではない我々は堂々と胸を張って王道を突き進むべきなのです。

自己の魅力は低いにも関わらず金を見せびらかし、さも自分の実力のように振る舞うのではなく根本的な魅力を手に入れ堂々とその魅力で女性を喜ばせる。万が一、彼女や同僚にバレてしまったら完全に無かったことにしたいであろう下劣なセールスページに書かれてあるようなうわべだけのテクニックではなく、本質的に女性が望むものをさまざまな角度から自然に提供できる本質的な魅力を我々は手に入れるべきなのです。

何か1つだけのパラメーターが突出していても他の値が低ければ、それは男としても魅力は低いのです。嫌ですよね、お金はたくさんあるけど、死ぬほど不潔。顔は極端にイケメンだけど究極の貧乏。バランスが悪いとそれは恋愛において不利なのです。すべてが平均値かそれ以上で1つか2つ突出して尖っている。このような状態が恋愛において非常に有利に事を進めることができるのです。

先ほどのテクニックの話ではないですが、バランスを考えていくと、テクニックだけではダメだし、テクニックを全く知らなくてもそれは不利になります。男としての魅力を備えつつもその気になればテクニックもいつでも使える。このような中庸が恋愛活動を有利に進めていける状態なのです。

一時的なラッキーパンチで彼女ができるような人間ではなく、本質的に女性が放っておけない魅力的な男になるには、お金だけ見せびらかせばモテると完全に勘違いしているギラギラ系でもなく、稚拙で下劣極まりなく、自分の親友、家族、彼女にバレたら両手で顔を隠してダッシュで逃亡したくなるようなセールスページで販売されている教材の中身に書いてあることでもないのです。

本質的にモテるためには、自己の進化を絶やさずバランス良く人間力を上げていくこと。時間はかかるかもしれないけれど、これが恋愛活動で成功する一番の近道なのです。

田辺祐希